

紫波ネット

2000

紫波

「わが町を知る」
「わが近隣を知る」
「わが未来を知る」ため
の総合広報

9

No.559
月号

発行 / 岩手県紫波町 編集 / 企画課

特集

655人、822件の提言

町づくり座談会開催



MY MESSAGE

私からのメッセージ

浅沼 久さんから

町民劇場で演劇の
楽しさにふれて

あさぬまひさし 盛岡で舞
台・テレビ装置の会社を経営す
るかたわら、演劇の演出・脚本
などを手がける。

(九月二日 中央公民館
紫波町民劇場練習で)

会社に紫波町出身者がいることから、今回町民劇場に参加させていただいているんですが、いい舞台になりますよ。何たってこの前の練習では、役者の熱演ぶりにナレーションを担当する女性がホロリときてしまって、自分の出番を忘れるぐらいですから(笑)。
演出と脚本を担当しているんですが、実はこれまで野村胡堂をよく知らなかつたんです。今回いろんな資料を見て、本当に驚かされました。いろいろな人、企業にいわば「篤志家」として、お金を貸してあげているんですね。もちろん催促することもなく、返してもらうつもりもない。だから彼の周りにはいろいろな人が集まり、ドラマがある。今回はハナとの結婚までを描いていますが、機会があれば、ぜひその後もやってみたいですね。

655人、822件の提言 町づくり座談会開催

町内33カ所で開催した
町づくり座談会の報告

今日の
TOPics
トピックス



貴重なご意見、ご提言に
お応えするために

紫波町長 藤原 孝



皆さんの真剣な意見に
聞き入る藤原町長

六月十九日からほぼ一カ月にわたり行った「町づくり座談会」では、皆様の貴重なご意見・ご提言を伺うことができました。参加いただいた皆様は六百五十五人、ご意見・ご提言数は八百二十二件に上り、町づくりに期待する皆様の声を直接お聞きすることができたことに、喜びとともに責任の重大さも改めて痛感いたしました。

ご提言・ご意見は、すぐ着手しなければならぬ緊急なものから、関係機関との協議が必要なもの、来年度からの将来計画に反映させるものなどに分け、実現に向け努力して参ります。

六月十九日から七月十六日まで、町内三十三カ所の会場で「町づくり座談会」が開催されました。これは皆さんの声を、町政に反映させるため毎年行っているものですが、今年は特に、平成十三年度からの新しい町の総合計画を策定する重要な年度にあたり、開催回数を増やし、行ったものです。実に、六五五人の参加、八三二件の提言や意見が出されました。参加してくださった皆さん、ありがとうございました。

紫波ネットではこれらの提言や意見のうち、特に多かった内容や主なものをテーマを設け、今月と来月の二カ月、特集することになりました。九月号では全体の約一五パーセントを占めた道路や交通安全、ごみ問題といった皆さんの生活環境に密着した内容と、社会福祉についてお話を伺いました。

総合計画策定までの流れ

町民ワーク
ショップ
全4回
延べ93人

町づくり
座談会
655人

小中学生に
よる作文
3374人

提言

提言

提言

総合開発審議会

11月

新しい総合計画

四回にわたって行われた町民ワークショップ、「新しい町づくりにあなたの夢を」と題した小中学生の作文、そして今回の町づくり座談会などを基に、総合開発審議会により新しい総合計画がより充実したものになるよう審議を重ねていく予定です。

また内容も環境・福祉・教育・産業の順で、「環境と福祉の町・紫波町」にとって時宜を得た提言であったように思います。

さらに感銘したのは「行政だけに任せるのではなく、みんなでできる方法を」という意見が各会場で出されたことです。自らの町づくりは自らの手で、このご意見には職員一同、えりを正して今後の施策に取り組まなければと改めて肝に銘じた次第です。

それと同時に今回の町づくり座談会は「百年を見すえた町づくり」の足がかりであることを実感した会でもありました。

ある会場で「町に住んで十二年立つが、空気と水がきれいなのがうれしい」という感想が聞かれました。少子化と高齢化が進む中でも「環境と福祉の町づくり」の姿を全国に発信すれば、決して色あせることない、いえ、むしろ輝く「紫波町」として発展してゆくものと信じております。

今後十三年度からのスタートに向け、いよいよ佳境に入る「紫波町発展計画」づくりですが、今後ますますのご参加をお願い申し上げます。

説

提言 私の提言

1



地域の道は 地域で手入れを

福田淳さん(右・山屋)
佐々木清さん(左・東長岡)

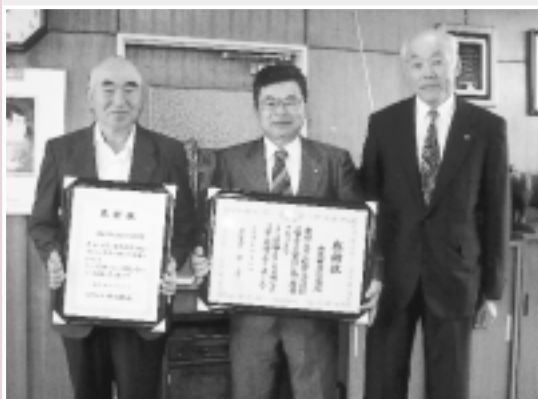


福田さんは「歴代の行政区長が中心になり、草刈りやごみ拾いを、佐々木さんは「地域の公民館活動の中で花壇の手入れや清掃を」とどちらも二十年以上も続けてきたことで、当たり前だと思ってきたと話されました。(以下、お二人のお話をまとめました)

道路も新しくするだけでなく、いかに維持していくかは、地域の協力にかかっているとされています。地域の道、地域の皆で共同でやることができるものは、地域でやるのが当然。できることはやろうやろうと考えています。ただ道路に大きくはみ出した木の枝は勝手に切られないので、地権者への交渉も必要です。このように難しい交渉や危険が伴う場所の作業については、町でフォローしてほしいと思います。

す。また毎年春と夏の二回行われているクリーン作戦はとても良い機会。草刈りも時期があつて田植え上がりの六月、お盆前の八月は効果があります。皆でやると一時間くらいで終わります。これからは地域の子どもたちにも、ごみのことや清掃活動を定着させるための意識づけが大切だと考えます。

表彰された福田淳さんと佐々木清さん



どの会場でも出されたのが道路の問題、道路改良や拡幅、歩道設置、舗装といった道路に関する提言や意見が最も多く、822件の提言のうち、約15%を占める127件でした。皆さんの生活に密着した身近な道路の問題はどの地区でも関心が高いようです。「議会で誓願採択されたがどうなっているのか」などの質問も多く出されましたが、計画に従い順次実施し、緊急性の高いものから着手しています。

今回お話を伺ったお2人は、道路の美化活動に功績があったことが認められ、山屋地区道路愛護会(代表福田淳さん 写真中央)が大臣表彰を、また東長岡中央地区公民館(館長佐々木清さん 写真左)は知事表彰を受賞しました。

9月1日には受賞の報告のため藤原町長を訪ねました。





人口増加に対応した事故防止の意識を

あきてる
土川彰映さん（高水寺）

私は長いこと、危険と直面する仕事に従事する人たちを管理する立場にありました。悲惨な事故を何度も目にし、「どうしたら事故を防げるか」を常に考えていました。その経験から感じることですが、特にこの古館地区は、急速な開発に生活道路などハード面の整備（信号機、標識、自転車専用道路）が追いつかない状態だと思えます。

ほとんど毎月のように同じ場所で何件か事故が発生しています。それではどうしたらいいか。行政の責任を追及するだけでなく、自分たちができることはないか考えてみました。運転する人、歩く人、自転車などそれぞれが人、相手に対



交通安全への取り組みは今後も重要な課題です



する優しさ、思いやりの気持ちをもって行動すれば、事故は防げるのではないかと思います。特に大人が努力して、子どもたちに模範を示し、声かけをするのが大切だと思います。また交通安全にかかる組織の一本化を図り、組織の簡素化と効率化により、より実効性のある活動を行うてほしいと感じます。



交通安全については、特に危険箇所への信号機や標識、カーブミラーといった安全施設の設置を要望する声が多かったです。交通安全に関する提言や意見は全体の約3%、24件ありました。

信号機や標識の設置は、県公安委員会が行います。

信号機の設置には1台1200万円もの経費がかかるため、危険度や緊急性の高い場所から設置されているのが現状です。

しかし土川さんのご提言のとおり、悲しい事故は後を絶つことがありません。今後、人口と交通量の増加とともに、交通安全機関・団体の緊密な連携の下にさらなる取り組みが必要と思われます。

町内33カ所で開催した町づくり座談会の報告





資源リサイクルを推進し 経費削減を

藤尾孝太郎さん（土館）

捨てるごみの処理に、多額の費用をかけるのは、まず、もったいないと思います。リサイクルできるものはリサイクルし、利用できないか。地区では小学校や中学校で資源ごみの回収を行っています。もつと他の地区でも取り組んで、町がごみ処理のためにかける経費を減らす努力をしなければならぬと思います。町づくり座談会では道路の要望がたくさん出ましたが、その浮いたお金を道路に充てたいのではないかと思います。

ごみポイ捨て監視員として片寄地区を二人で担当しています。だいたい月に三回巡回するのですが、数を数えられる紙パック、ペットボトル、空き缶だけで、去年の七月から約五千個になりました。ごみも民家のそばには少ないんですが、



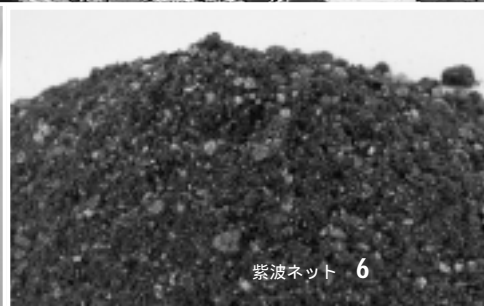
ごみ問題については、集積場所を無視した投棄が多く、ごみポイ捨て禁止条例の看板をもっと配付してほしいなど、全体の約6.6%にあたる54件の提言や意見が出されました。また藤尾さんのご提言のとおり、ごみ処理にお金をかけたくないというのは皆さん共通の考えだと思います。そこで資源リサイクルについてお知らせします。

町では資源リサイクル団体の育成を行っています。資源リサイクル団体が収集した資源物の量により、紙類、金属類は1キログラム当たり3円、ビン類は1本2円の運動奨励補助金を交付しています。昨年は77団体、運動奨励金として約200万円お支払いしています。もし資源回収しなかった場合、処理費用はなんと1300万ほど。単純計算でも1100万円経費を節約したことになります。

現在町では有機資源循環計画を推進していますが
それ以外の資源にも積極的に取り組んでいきます



県道や町道の川や田の近くは多く人目に付きにくい場所ほどポイ捨てが多いですね。しかし去年に比べずっと少ないようで、条例の効果が現れていると思います。ごみ問題も困ったばかりでなく皆で協力し、経費の節減を真剣に考えなければならぬと思います。





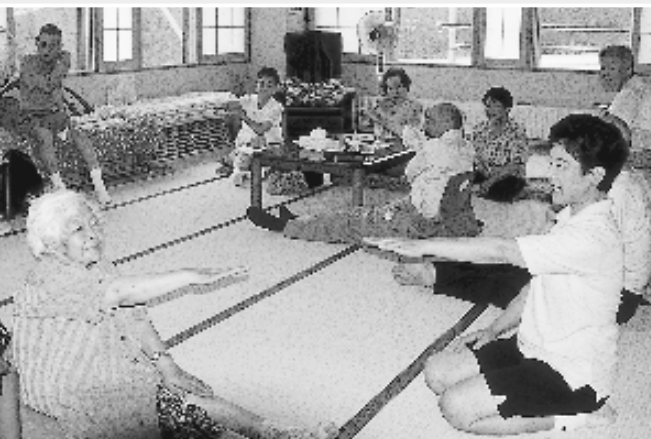
高齢者の心のケアを大切に

藤原静子さん（二日町）

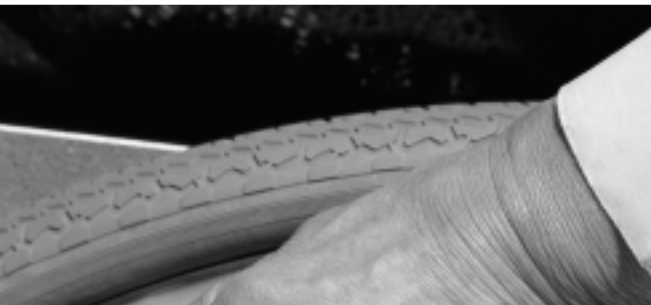
座談会で近くにいた方が「生きるつて大変だよな」とおっしゃったのを聞いて、私も母を見て感じていることを話しました。私の母は自分の身の回りのことは一人でできますが、外に一人で出歩くことはできません。私は車の運転をしないので、主人や息子の休みの日に、母のお友達を連れてきてもらい、家でのんびりとおしゃべりをしてもらいます。家にもならず、話をしてくつろぐ喜びを感じてほしいと思うからです。

病気で体が不自由になり頑張つてりハビリした話など、母の年代、七十代、八十代の人たちはとても精神力が強く、心のもち方などえらいなと感心することが多いです。医療面では恵まれていると思うのですが、年をとっていく人の

少子化・高齢化の社会への取り組みは町の重要課題の一つです



心のケア、残りの人生を心穏やかに過ごせるよう、元気で忙しくしている人も力になってあげることできないかと思えます。やさしさでもって隣近所に声をかける。そのような付き合いから、皆で支える社会、状況が生まれれば良いと思えます。



地域や児童、高齢者の福祉に関する提言、意見は全部で40件、全体の約4.9%にあたりました。

高齢者の生活を支える事業として、社会福祉協議会が支援する「いこいの家」があります。地区の社会福祉協議会や保健推進委員が中心になり行っているもので、昨年は81団体が393回実施しています。そのほかホームヘルプサービス、デイサービス、老人クラブに対する助成、独り暮らし老人連絡員、敬老会などさまざまな助成も行われています。

町内33カ所で開催した町づくり座談会の報告

今日のTOPics

次号はパート2を掲載します

おかあさん わいわい話そう

このページは子ども（0歳児～20歳前）をお持ちのおかあさんのためのページです。

雨天の遊び場情報、育児の悩み、学校についてなどのほか情報・質問など何でもお寄せください。企画課「紫波ネット」情報係まで
〒028-3390 日詰字西裏23-1
☎672-2111 ☎672-2311

【ホームページアドレス】
http://www.town.shiwa.iwate.jp
【メールアドレス】
info@town.shiwa.iwate.jp

第五十三回岩手芸術祭児童文学大会

「人がつなぐ」

図書ネットワーク

開催のお知らせ

県教育委員会や県文化振興事業団、県芸術文化協会、マスコミ各社が主催する「人がつなぐ図書ネットワーク」が開催されます。これは第五十三回岩手芸術祭の文芸活動の一環として行われるもので、どなたでも入場できます。

現在町では、十月一日から中央公民館や学校の図書室の本をインターネットで検索できるサービス開始に向け取り組んでいます。本とその周辺に興味ある人は、ぜひご参加ください。

【日時】十月一日（日） 午後一時三十分～四時三十分

【会場】野村胡堂・あらえびす記念館

【入場料】無料（当日どなたでも入場可） 託児施設も設けます

【内容】 実演「パネルシアター」おはなしの森 菅原和子さん 講演「こどもと本の出会いを求めて」川崎村立図書館司書 早川光彦さん プレゼンテーション「人がつなぐ図書ネットワーク」学校図書館ネットの試み 町教育委員会総務学事課 佐藤美津彦さん

【問合せ】 社会教育課 ☎672・3362 有線01・8941

なんでも質問箱

十一月から入園募集開始

町の幼稚園は左の地図で紹介した三カ所です。家庭の諸事情から保育に欠ける乳幼児を保育する保育所に対し、幼稚園は幼児の健全な心身の発達を目的とする教育の機関です。また基になる法令も保育所が児童福祉法なのに対し幼稚園は学校教育法と異なります。

初めての幼稚園ということでお母さんの不安や心配は尽きないようです。でも「心配せずそのままであらう」といって強硬な言葉が返ってききました。どの幼稚園もバスでの送迎、預かり保育も行っています。来年度入園の受付は十一月から、十月からは募集案内も配付します。また幼稚園の様子を見学することもできますので、ぜひ親子で出かけてみてはいかがでしょうか。詳しいことはそれぞれの幼稚園に電話でご確認ください。

【あづま幼稚園】 運動会の練習中
【赤石幼稚園】 年長さんが園庭におじゃましました。に整列しパチリ。た。とても一所懸 やっぱり年長さん命で、と一番が楽し ますね
【日詰幼稚園】 年長さんが敬老会の歌の練習をしていました。澄んだ歌声にしばしうっとり



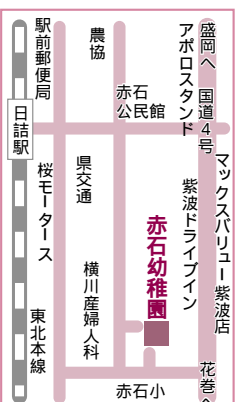
あづま幼稚園

【上平沢字川原田84-2】
☎673-7202



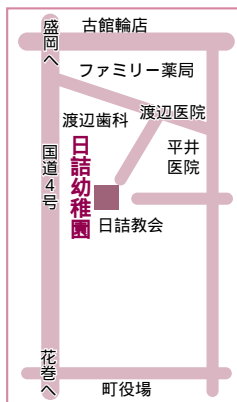
赤石幼稚園

【北日詰字東の坊50-5】
☎672-2044



日詰幼稚園

【日詰字下丸森130】
☎672-2542



今回の質問

町内の幼稚園ってどこにあるの？

答え

町には3カ所の幼稚園があります
一度自分の目で見てみてネ

保育所と幼稚園の違い

項目	幼稚園（担当課:教育委員会）	保育所（担当課:生活環境課）
「先生」が持つ資格は？	幼稚園教諭普通免許状	保育士資格証明書
根拠法令と目的は？	学校教育法 「幼児を保育し、適当な環境を与えて、その心身の発達を助長すること」 （学校法第77条）	児童福祉法 「日々保護者の委託を受けて、保育に欠けるその乳児または幼児を保育すること」 （児童法第39条）
1日の保育時間は？	4時間を基準とし各園で定める	8時間を原則とする

十月一日スタート

公開します

「みんなの町政情報」

守ります

「あなたの個人情報」

Q 情報公開制度って、一体なに？

町が管理している公文書などの町政情報を皆さんの請求に基づいて公開する制度です。「町政情報」といっても、広報やパンフレットでお知らせするものから、報告書や計画書、内部で管理している公文書まで、いろいろなものがあります。

町は、情報公開制度によって、町民の「知る権利」を尊重するとともに、町政への町民参加を促進し、公正で開かれた町政の実現を図ります。

Q 誰が請求できるの？

町民、町民以外を問わずだれでも請求することができます。

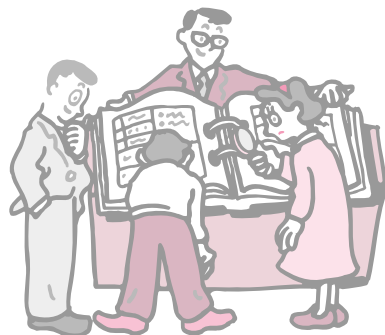
Q 請求すれば、何でも見せてもらえるの？

公開が原則ですが、例えば、法令などで公開できないとされている情報や個人に関する情報、公開すると事業執行に著しい支障が生じる情報などは、非公開となることがあります。

Q 個人情報保護制度って、一体なに？

町は、皆さんの生活に密着した仕事を

町の情報公開
個人情報保護制度
のご案内



合は、その法定代理人も請求できます

Q 本人の情報は、請求すれば全部見られるんですよね？

できるだけ開示するのが原則ですが、例えば、法令等で開示できないとされている情報や開示すると事業執行に著しい支障が生じる情報などは、本人からの請求であっても非開示となる場合があります。

Q 両制度の請求の手続きはどこに行けばいいの？

役場三階の総務課事務改善係が請求や相談の窓口となっています。

Q どうやって請求するの？

所定の請求書で請求してください。また情報公開制度の請求は郵便やFAXでも請求することができます。(個人情報保護制度は窓口での請求だけとなります)

なお個人情報の開示などの請求には、運転免許証、パスポートなど本人であることが証明するための書類が必要となります。

Q 請求してからどのくらいの期間で決定するの？

町政情報や個人情報の開示請求について

情報公開制度・個人情報保護制度が十月一日スタートします。情報公開制度は町が持っている情報(町の仕事に関する書類など)を広く町民のみならず公開し、公正で開かれた町政を進めていくための制度です。また個人情報保護制度は、町が持つ多くの個人情報の取扱いについて、プライバシーを守ること、自己情報のコントロールする権利を保障するための制度です。

では、請求日から十五日以内、

また個人情報の訂正、削除、

中止請求については、請求の日から三十日以内に、

請求に応じられるかどうかの決定をして

通知いたします。

ただし、やむを得ない理由があるときは

は、決定までの期間を三十日まで延長す

ることがあります。(個人情報の訂正、削

除、中止請求については、六十日まで延長

することがあります)

Q 費用はかかるの？

閲覧・視聴などは無料です。町政情報や個人情報の写しの作成については、その実費(例：白黒コピー代A3版まで1枚十円)を負担していただきます。

Q 決定に不服があるときは、何かできるの？

請求に対する町の決定に不服があるときは、六十日以内に不服申立てができます。

不服申立てを受け、町は審査会に諮問し、

その答申を尊重して不服申立てに対する

決定をします。



担当・問合せ：総務課事務改善係 ☎672-2111 内線312

商工会や農協、町などからなる夏まつり実行委員会が主催する第29回銭形平次紫波夏まつりが、8月6日運動公園陸上競技場を主会場に行われました。

700人からなる盆踊りや2000発の花火に親子連れなど約17000人が、真夏の祭典を満喫しました。

また今回初めて行われた「記念花火」は第一子誕生祝いや結婚祝いなど5件の申込みがあり、打ち上げに先立ち紹介されました。記念花火は来年も行われる予定です。

お仕事 おじゃましま〜す

最後は夜空を彩る2000発の花火
炎天下での夏まつりの準備に密着



【午前9:05】 見事なテント設営

15人ほどが参加しテント設営。約20台のテントを手際よく組み立てていきます...が、気のせい10台目あたりからペースが落ちてきたよう。シャツにも汗がにじんでいます。



【午前9:00】 まずは打ち合わせ

2日前から器材の搬入など準備を行ってきた皆さん。早朝作業でステージ設営を担当したという人も...。スタッフ勢揃いで「今日ではよろしくお願ひします」



【午後3:15】 花火の準備も着々

人騒がせな雨が上がり、準備が再開。河原では花火の準備も佳境。連発用、複数使用するもの、扇形に飛んでゆくものなど、数え切れないほどの筒が並べられていました。



【午後2:30】 急に雨が降り出す

心配していた雨が降り出しました。雷まで響いています。急いでスピーカーにシートを掛けます。グラウンドではスタッフも、四方八方に走り行きます。



【今回おじゃました仕事場】 夏まつり実行委員会の準備会場

この日のために準備に参加したスタッフは約100人。午後4:00からの4時間40分のために、2日前から作業にかかりました。そしてまつりの最後を飾ったのは2000発の花火。ドーンという大きな音に続き、ジリジリと空を焦がすような音と長い光の帯が夜空を飾りました。このときばかりはスタッフも手を休め、美しい光のページェントに見とれていました。

**何といつても体力勝負！
準備・かたづけは早朝から深夜まで**

この日に備え、再三打ち合わせを行ってきた夏まつり実行委員会。午後四時からの開催に向け、早朝からステージ設営など準備に大わらわ。

気温もスタッフ全員が集めた午前九時にはすでに三〇度近くまで上がり、過酷な作業が予想されました。まさに体力勝負。実際には大型機材の搬入など三日間にわたり行われ、この日は本番。まさに総仕上げです。実は一つ心配なことがありました。それはわか雨。まつりの二、三日前から、必ず午後にとしや降りの雷雨があり、前日には町内で停電騒ぎまでありました。前夜心配でよく眠れなかったという担当係長は朝から空を見上げ、「あの辺の雲があやしいんだよ」と言いながら準備を進めていました。

心配していた雨は、まつりの始まる前に三十分ほど降っただけ。すべて予定通りに進行し、スタッフも胸をなで下ろしました。最後は花火で無事終了。ですが、スタッフはここからもう一仕事です。会場のゴミや小機材を片づけなければなりません。スタッフが帰路についたのは午後十一時。本当にお疲れさまでした。

盆踊り大会の主な結果

銭形平次部門（七団体）

お静賞・長岡の童と若げ人達

ほか各賞五団体

紫波町音頭部門（七団体）

盆踊り大賞・岩手県立紫波病院

夏まつり大賞・日詰十区子供会

ほか各賞五団体

夏まつりについてのご意見・ご感想をお寄せください
町観光協会(企画課内) ☎672 2111 内線325



【午後2:00】

屋台村も準備開始

午後1:00から始まった屋台村の準備。棚に並べる人、炭火をおこす人、値札を付ける人、めいめいが動き回る中、早くもいい香りが立ちこめてきました。



【午後0:30】

伝統の技、郷土芸能祭

まつり準備が行われているころ、中央公民館では7団体が参加し、恒例の郷土芸能祭が行われました。大人に混じり子どもたちも、懸命に練習の成果を披露しました。



【正午】

木陰でお弁当の昼食

汗を流した後の昼食は、やはり木陰が一番。心地よい風と冷たいお茶でひと息入れます。「オーイ、俺の分ある?」という声もあがりましたが、無事皆に行きわたりました。



**【午前9:15】
のぼり旗作り**

約50本を仕上げるにはやはり姉さんかぶりでなくちゃ。少しずつ助っ人が増えてきました。でも端から見ていると、まつり準備というより、内職というか井戸端会議というか...



【午後8:00】

迫力! 佐比内金山太鼓

祭りのクライマックスは、花火をバックに打ち踊る佐比内金山太鼓の皆さん。芝生に座った観客の皆さんは、音と光の競演を大いに楽しんでいました。



【午後6:30】

700人で盆踊り大会

24団体約700人が入賞を目指し踊りました。中央公民館での「銭形音頭」練習会も100人以上が参加する盛況でした。星山小学校の子どもたちも一輪車で参加しました。



【午後5:30】

迫力の生バンド演奏

3グループが参加したバンド演奏。ジャズ、ロックなどさまざまなジャンルの演奏が披露されました。周りでは一般の観客のほか、友人たちが大きな声で声援を送っていました。



【午後5:00】

siwaウインドアンサンブルの演奏

途中から駆けつけるメンバーもいましたが、見事な演奏が会場いっぱい響きます。軽快な音楽とテンポに、心も弾むようでした。おなじみの銭形平次のテーマも流れました。

今回の質問

「あなたのおこづかいは？」

古館小学校6年生（男子72人・女子67人）
に聞いたアンケート結果

僕たちの意見!

子どもたちへのアンケート

格差は約3500円 でも7割は「満足」

今回のアンケートは悩みの種のおこづかい。いくら与えるのがいいのか、どの程度の期間であればいいのか…。さあ、子どもたちの回答を見てみましょう。

いきなり核心! 子どもたちの大多数が1カ月ごとにおこづかいをもらっているよう。ただ、その額にはかなりの開きがあります。計算してみると月額400円から約4000円まで多種多様でした。

【1日単位】の内訳

10円 1人
100円 1人

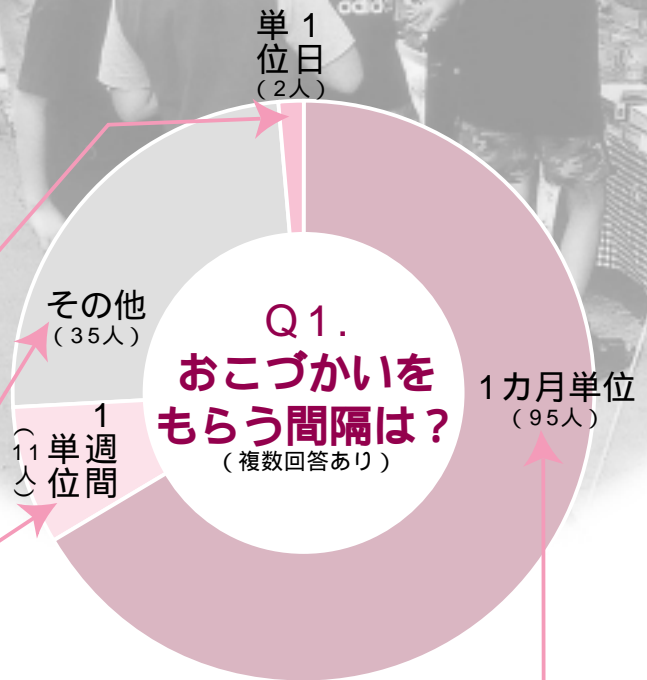
【その他】の内訳

- ・ほしい時にもらう 7人
- ・たまにもらう 7人
- ・もらっていない 7人
- ・必要なときにもらう 6人
- ・手伝いをしたらもらえる 4人
- ・決まっていない 4人

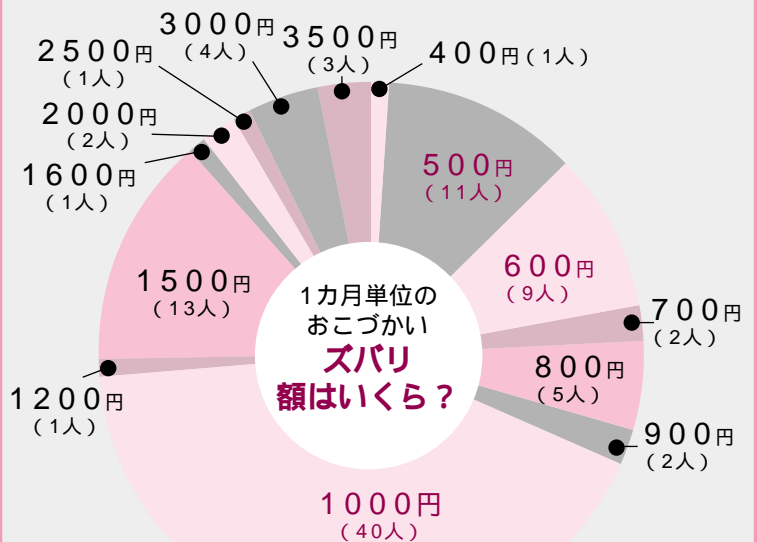
【1週間単位】の内訳



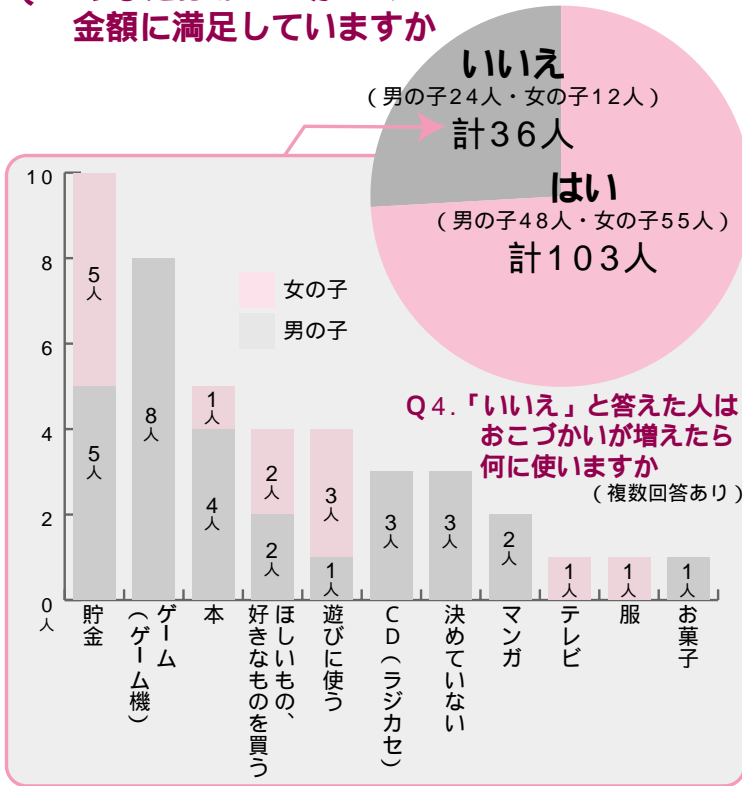
Q1. おこづかいをもらう間隔は? (複数回答あり)



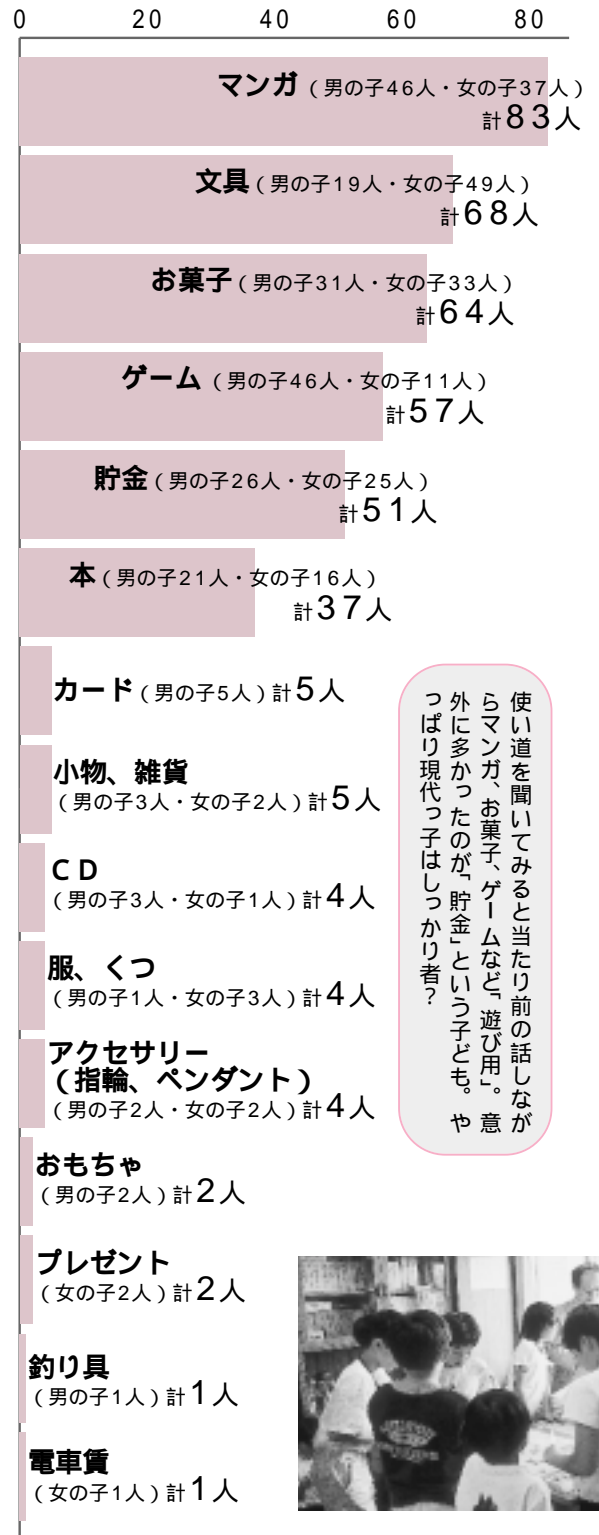
【1カ月単位】の内訳



Q3. あなたはおこづかいの金額に満足していますか



Q2. あなたはおこづかいをどのように使っていますか (複数回答あり)



使い道を聞いてみると当たり前の話しながらマンガ、お菓子、ゲームなど、遊び用。意外に多かったのが、貯金という子ども。やっぱり現代っ子はしっかり者?



先生はどう思う?

【アンケート結果から】

古館小学校 野口晃男 校長



おこづかいは、そもそもほかの家庭の額と比較をするものではなく、自分の家の方針によって金額を決めるものです。その意味では、今回のアンケートからは、各家庭の工夫が見えてきて興味をひきます。

一カ月単位で与える家庭が多いのは、月給という形で生計を立てている家庭が多いことと、子どもにとって計画を立てやすいということによるものと考えられます。

使い道については、口出しは無用と思われませんが、何に使ったのかを子どもものほづから話すのが望ましい姿です。

小さいころから金銭感覚を養っておくことは、ご両親が行う大切な教育の一つと考えますので、ぜひ話し合いながら適切なおこづかいの与え方、使い方を教えてください。

おわびと訂正

前号のこのコーナーで、星山小学校の校長先生のお名前に誤りがありました。正しくは小坂博さん(左写真)です。おわびして訂正いたします。





藤原町長と名刺交換をするライアン・T・ミラーさん



いらっしやい、ライアン・T・ミラーさん 教育委員会に新たな外国語指導助手が来日

教育委員会に新たな外国語指導助手としてライアン・T・ミラーさん(Ryan Thomas Miller)が七月末に着任しました。トーマス・M・ジャストラブさんの後任として来町したもので、これから町内の三中学校で生の英語を指導していただきます。ミラーさんは一九七八年六月七日生まれの二十二歳。大きな体にさわやかな笑顔が似合う好青年です。トーマスさんに町の印象などを質問しました。

Q 出身地はどのような所でしょうか？

ミシガン州のコールドウォーター出身ですが、十二歳の時に(同州)スプリングレイクに引越しし、十八歳で家を離れて(同州)アンアーバーの大学に行きました。スプリングレイクは住民が約二千人の小さな村で、ミシガン湖の近くにありますが、ミシガン湖にはとてもすばらしい浜辺があり夏は大変楽しい所ですよ。

Q 家族構成などを教えてください

父と母と弟がいます。父の名

前はトムといい、学校の校長をしています。母はシェリーといい、ミシガン州政府で社会奉仕の仕事をしています。弟が一人いて、先週十三歳の誕生日を迎えたアダムです。

Q 大学では何を専攻したのでしょうか？

ミシガン大学ではドイツ語と言語学を、それからドイツに二年間住んで大学に一年間通い、外国語教授法を学習しました。日本に来たかった理由の一つが外国語を教えるということに挑戦したかったことです。

Q 町と生徒達の印象はどうですか？

お会いした人すべてが優しく親切ですね。皆さんとても友好的なので、新しい人たちに会うのが本当に楽しいです。

生徒たちもとても友好的です。教室の外で私を見かけると、かけ寄ってきて話しかけてきますし、職員室にも来て私と話をしようとしています。英語で私と話をしようとかんばってくださいね。習っている外国語を楽しんで使おうという姿勢は、大変すばら

しいと感じました。

Q 日本語は難しいですか？
何か言葉は覚えましたが？

数カ月前に習った日本語は基本的なあいさつです。それからずっと勉強していますし、毎週盛岡の日本語会の教室に通っています。とても楽しいですよ。

Q 趣味や特技などを教えてください

スポーツが好きです。野球、テニス、フットボールなど。一番好きなのはゴルフです。それからfrisbeeをするのも好きです。映画・音楽も好きですね。トロンボーンを演奏するので、町民バンドにも参加しています。松明の曲芸とボウリングのピンの曲芸もできますよ。

Q 将来の夢や今後の予定はありますか？

今のところまだはつきりとはしていませんが、アメリカに戻る時には教師になっているかもしれないですね。たぶん大学にもどり勉強することになると思います。とにかく今は紫波にいて英語を教えることがとても楽しいです。

皆の力で交通事故の防止を呼びかけ ウォークラリーなど各地で運動展開



八月一日から十五日まで
青少年の交通事故防止県民
運動が各地で展開されまし
たが、町でもさまざまな運
動が行われました。一日に
は交通安全ウォークラリー
が行われ、アベニール西公
園に集まった約百二十人の
親子が、交通ルールを守り、
クイズに答えながら、ゴー
ルの中央公民館を目指しま
した。

また交通安全協会や母の
会が中心になり、各地で期
間中テント作戦が行われま
した。「交通事故には気を
つけて」と一人ひとりに呼
びかけていました。

大きな声援を受け記録に挑戦！ 十七回目の町内小学校水泳大会

今年で十七回目となる小
学校水泳記録会が七月二十
七日、紫波第三中学校プー
ルで町内十一小学校の児童
が集まり開催されました。
強い日射しが照りつける
中、出場選手はそれぞれの
種目別に記録に挑戦。また
プールサイドでは学校ごと
に応援も盛んで、大いに盛
り上がりました



昨年に続き八戸藩ゆかりの地を見学 八戸市の小学生四十四人が町を訪問

八戸市内の小学生四十四
人と引率の教師らによる八
戸藩ゆかりの地を訪問する
少年使節団が七月二十七
日、上平沢地区の八戸藩代
官所跡地を訪問しました。
この訪問は昨年に続き二回
目となり、出迎えた石川助
役は「歴史を受け継ぎ、語
りつないでいきましょう」と
歓迎の言葉を述べまし
た。また一行の代表から八
戸市長の親書が手渡されま
した。



バスケットに続き全国大会出場 古館小スポーツ少バレーボール

古館小学校のスポーツ
少年団バレーボールのメ
ンバー九人が全国大会へ
の出場を決め、報告のた
め八月七日藤原町長を訪
問しました。

藤原町長の激励の言葉
に、キャプテンの矢野
弘晃ひろあきさんは「予選リーグ
突破が目標」と力強く答
えていました。なお古館
小学校のスポーツ少年団
の全国大会出場はバスケ
ットボールに続き二件目
です。



地区民の交流盛んに 三年ぶり町民運動会

町民運動会が八月二十七日、紫
波運動公園陸上競技場で開催され、
日詰から長岡まで、町内九地区の
代表選手が地区対抗で得点を競い
ました。町民運動会は二年に一度
の開催ですが、昨雨が雨で中止と
なったため三年ぶりの開催となり
ました。集まった人たちは暑い中、
競技と応援に汗を流しました。
結果は次のとおりです。

総合優勝 長岡地区
準優勝 赤沢地区
総合リレー優勝 古館地区



七百人の関係者が熱心に情報交換 二日間の東北産直サミットが開催

東北各地域の農産物産地
直売活動のレベルを高め、
相互研さんを深めることを
目的に、第四回東北地方・
産地直売所サミットが八月
三十日から二日間、サン・
ビレッジ紫波を会場に開催
されました。東北各地から
約七百人が集まりました。
紫波町の七つの直売所の紹
介や参加直売団体による事
例発表、また経営や客への
サービスといったテーマ
とに分科会を行うなど熱心
に情報交換がおこなわれま
した。



お知らせ掲示板

INFORMATION

アメリカシロヒトリの 大発生を抑える駆除を

高温続きで大発生しているガのアメリカシロヒトリの幼虫やさなぎを駆除しましょう。幼虫はクルミや桜などの葉を食害し、ダメージを与えます。8～9月は幼虫からさなぎの期間で、放っておくと越冬し、来年また大発生の原因となります。

▶**予防対策** 【第1段】さなぎになる9月下旬までに発生した樹木の幹にむしろなどを巻き付け越冬させ、春先にそのむしろを焼却する。【第2段】早期に卵や巢内の幼虫を発見し、枝葉を切り取るか踏みつけて早期駆除（薬剤より効果が高く安全）【第3段】巢から散らばり単独行動を行うようなら薬剤散布で防除

▶**薬剤散布城の留意点** ①散布薬剤はディプレックス乳剤を。ただし購入には印鑑が必要となるため、購入先に相談を ②散布時は防護マスク・めがね・手袋・雨がっぱなどを着用し、安全使用上の注意事項を厳守で ③作業は3人以上必要です

INFORMATION

都市計画に関する縦覧 ごみ処理施設

町では次のとおり縦覧を行います。

- ▶**都市計画決定権者の名称** 矢巾町
▶**都市計画対象事業** (1) 名称：盛

岡・紫波地区環境施設組合ごみ処理施設整備事業 (2) 種類：ごみ処理施設の設置 (3) 規模：処理能力1日当たり160トン

▶**都市計画対象事業が実施されるべき区域** 紫波郡矢巾町大字西徳田地内

▶**関係地域の範囲** 盛岡市、紫波町、矢巾町

▶**評価書の縦覧** 【場所】：紫波町生活環境課 【期間】：9月22日から10月21日まで(土・日曜・祝日を除く。ただし10月21日(土)は縦覧を行います) 【時間】：午前8:30～午後5:00

▶**問合せ** 生活環境課環境保全係 ☎672-2111 内線155 有線01-8921

INFORMATION

秋の味覚がいっぱい 第17回産業まつり

このまつりは、町内の物産、企業、地酒、銘菓などを紹介するコ-ナ-をはじめ、三陸町から海の幸と大迫町のワイン、宮守村の地ビールなど、屋内外に50を超えるコ-ナ-が設けられます。

そのほか、もちまき大会、どっさり市大抽選会やペットボトルロケット大会、トーマス号や犬のペットふれあいコーナーなど親子で楽しめるイベントもあります。

また今年もJAいわて中央農業団地センターで開催されるJA収穫感謝まつりと同時開催となります。

日詰小学校シャイニィ・メイツと

赤石小学校の金管バンドの演奏を披露。21日の午後にはIBCラジオ大塚富夫さんの番組「タウン」の生放送もあります。

なお産業まつりへの物産・売店の出店の申込は9月25日(月)まで。

▶**開催日** 10月21日(土)午前9:30～午後5:00・22日(日)午前9:00～午後4:00

▶**会場** サン・ビレッジ紫波(紫波勤労者総合スポーツ施設)

▶**問合せ** 産業まつり実行委員会(企画課内) ☎672-2111 内線326

紫波中央駅前地区に 新行政区が創設

新設区は日詰第18行政区(紫波中央駅前5丁目・24世帯)、日詰第19行政区(日詰字牡丹野の一部・紫波中央駅前1丁目・紫波中央駅前1丁目・21世帯)で10月1日からの実施となります。(対象家庭にはすでに通知してあります)

「三宅島・新島・神津島近海 地震等災害」義援金を受付

共同募金会では三宅島の噴火、新島・神津島等の地震による被害者支援のため義援金を受け付けています。受付期間は9月29日(金)までです。

紫波町分会窓口での受付

郵便局からの振込先

郵便振替 00120-9-100250

社団福祉法人 東京都共同募金会

問合せ 県共同募金会紫波町分会

事務局(総合福祉センター内)

☎672-3258 有線01-2105

10月1日(日)野村胡堂・あらえびす記念館



第53回岩手芸術祭児童文学大会「人がつなぐ図書ネットワーク」

詳しい内容は6ページを参照してください

中央公民館の町民教養講座

多彩なゲストを迎える町民教養講座(教育委員会・中央公民館主催)の10月の予定をお知らせします。興味のある人はぜひご参加ください。

▶**日時** 右表参照

▶**会場** 中央公民館集会室 ▶**対象** 町民

▶**問合せ** 教育委員会 ☎672-3362 有線01-8941 / 中央公民館 ☎672-3372 有線01-2922

日 時	内 容
10月1日(日) 午前10:00～11:30	この美しい自然を子どもたちに ～資源循環型社会で豊かな未来づくり～ 日本環境財団 副所長 川上群蔵さん
10月29日(日) 午前10:00～11:30	人生80年代のライフサイクルを考える 金ヶ崎町生涯スポーツセンター事業団 副理事長 小野寺辰夫さん

「町の文芸コーナー」はお知らせ版に掲載しています。作品は毎月前月末までにはがきで企画課広報係までお寄せください。

INFORMATION

**おいしいお菓子づくり
学んでみませんか**

ラ・フランス温泉研修産業館では、講師に盛岡市の小野寺恵先生を迎え、パン・菓子づくり教室を開設しま

日時	日程
10月2日 (月)	ペイクドチーズケーキ ウォールナッツケーキ
11月6日 (月)	ドイツ風アップルケーキ リンゴのマフィン&
11月13日 (月)	ブランマンジェ ハーブスコーン& ベーコンチーズスコーン
12月4日 (月)	マロン入り ガトーショコラ アールグレイプリン

- す。(4回シリーズ、日程は表参照)
- ▶時間 午前10:30～正午
- ▶会場 交流プラザ紫波「体験コーナー」
- ▶募集人員 20人(先着順)
- ▶受講料 11600円(4回分。材料費・テキスト代込み)
- ▶問合せ ラ・フランス温泉館(担当村上さん) ☎673-8555

INFORMATION

**町の皆さんが結成した
国際交流協会へご参加を**

「行政主導から町民主体の国際交流」を目的に、紫波町国際交流協会準備委員会では会員を募集しています。これは相互交流(ホームステイ受け入れ家族の組織化、ポータジ市との交

流推進、町民通訳ボランティアの登録など)国際理解(食文化を通じた国際理解イベント、国際理解講座)まちづくり(先進地視察研修)広報(ホームページ開設)などを主な活動予定にしています。加入希望の方は9月29日(金)までに申し込みください。
▶問合せ・申込 総務課 ☎672-2111 内線311

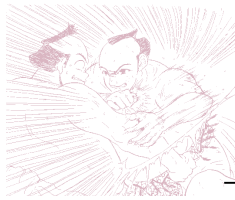
「せりりゅう紫波」200号記念

第10回野村胡堂 全国誌上川柳大会

課題 ジュニアの部(小・中学生)「手」、高校生の部「飛ぶ」、一般の部「鍵」「雑詠」 一般のみ投句料1000円
締切 10月31日(火)
投句先 〒028-3306 紫波町日誌西三丁目2-2 葛岡ヒデ子さん方 野村胡堂川柳大会係(☎676-4731)

紫波投稿文芸館 連載小説

なた
鈍の黒岩



紫波町出身の南部藩のお抱え力士・黒岩。一度はどん底まで落ち、脱出口さえ見つからなかったが、故郷での熊との戦いから新たな戦法をつかんだ。それは同時に黒岩が自信をつかみ直す技だった…。

作/遠山英志(紫野出身盛岡市) 挿絵/竹田千穂子(岩手町)

黒岩は生家のある紫野から盛岡に通う途中、乙部の如法寺に立ち寄るのを常としていた。赤沢屋生まれの海屋石梁住職は、その本家の白山別当家を介して黒岩と幼なじみであった。住職も少年時代から怪力で知られていた。住職が寺にいと、黒岩は茶の間に入り込んで長話をした。住職が留守の時、黒岩は火鉢の火箸を取り上げてこりこりと縄にない、灰に刺して出ていった。更に、門の前に置いてある団子型の力石を抱えて手代森迄運び、置いていった。その距離一里はあった。住職が後でこれを見つけると、「黒岩が通うたな」と言って持ち帰り、元の場所に置いた。茶の間に入って縄をなっている火箸を見ると、それを逆にしごいて元通りにした。

第五話 熱狂的な歓呼

黒岩は久々に江戸へ戻った。帰郷が自分にとって大きな成果を収め、前よりも大きくなったような思いが広がっていた。天明三年三月、深川八幡宮境内に於ける場所に、西小結で付け出された。年に二度の本場所の時はあらかじめ相撲会所から各藩に力士の借用願いを出すが、今回の南部藩の許可はいつになく早かった。藩主は利正が跡を継いでいた。会所は黒岩の確かな成長を感じた。

初日は休みであった。二日目の対戦相手は杣ヶ花であった。出足鋭く突進した黒岩は、杣ヶ花の胸元に右肘をぶち当てた。杣ヶ花が大きくのけぞると、観客はどよめいた。黒岩は杣ヶ花の胸元から右肘を離さない。まわり込んでこらえた杣ヶ花は、右を差して黒岩のまわしを掴んだ。こつなると、杣ヶ花は力を発揮する。ところが、黒岩は杣ヶ花の差し手を左腕

で巻き込み、その手で自分の右手首を掴んだ。黒岩はこの体勢でねじるようにしてぐいぐい押し込んだ。すると、屈強な杣ヶ花もするすると後退し、土俵の下に崩れ落ちた。瞬間、息を呑むような静寂が会場を包み込んだ。観客の間にざわめきがもれた。

「今の見たか」
「何だ、この技は」
勝ち名乗りを受ける黒岩に声援がとびかった。

「いいぞ、いいぞ、黒岩」
「日本」

江戸で神技を決めた黒岩の喜びは、何物にも替え難かった。柔らかに観客をかき分けて引き揚げる黒岩に観客の一人が尋ねた。

「黒岩、今のは何と称する技なりしや」
「鈍と申しあす」
「その技を教えたのはどなたでござん」
「神様から授かったのす」

黒岩はぼそっとした調子で応じた。鈍を決めたこの日の勝利は格別に味わい深いもので、部屋に帰った黒岩は人目をばからず、大粒の涙を流した。「すぐにいい結果が出なくても、自分には必死にやる相撲が必要だったのだ」と思う。

「黒岩が神技を使う」という評判は、口から口へと伝わった。観客の口伝えに勝る宣伝はない。鈍の新鮮さと凄みは、またたく間に江戸の観客を魅了した。翌日から観客はどっと押しかけた。明け六つからひしめき合うように並ぶ。棧敷は埋まり、花道迄立錐の余地がない程盛況であった。誰も鈍のことでそわそわと話が弾んだ。

町にも国勢調査の実施本部が設置されました

町実施本部は企画課内。国勢調査に関しては総務庁統計局・統計センターのホームページで
ご覧になれます。 URL <http://www.stat.go.jp/21.htm>



古館公民館 ☎676-2323 有線01-2102

教室名	開催日	時間	備考
手編み教室	第2・4木曜	9:30～	会費後期3000円
新舞蹈教室	毎週火曜	10:00～	会費月額2000円
3B体操教室	毎週月曜	10:30～	会費月額1000円、別にスポーツ保険1400円
エアロビクス教室	毎週木曜	10:00～	会費毎回500円、別にスポーツ保険1400円
書道教室(昼)	第1・3火曜	13:30～	会費月額1000円、テキスト代は別
書道教室(夜)	第1・3金曜	19:30～	

彦部公民館 ☎676-4670 有線01-6698

教室名	開催日	時間	備考
日本画教室	第3月曜	9:30～	スケッチから仕上げ
生け花教室	第4木曜	11:00～	小原流(講師:藤沢文子さん)
書道教室	第2月曜	19:00～	「北光」作品による指導(11月から)
健康体操	第1・3水曜	10:00～	講師:町体育実技指導員 佐藤淳子さん
陶芸サークル	第2月・火曜	13:30～	彦部我夢路工房
	第2水曜	19:00～	講師:橋本宏已さん
カラオケサークル	第3水曜	19:00～	後期会費1500円

水分公民館 ☎673-8222 有線02-3524

教室名	開催日	時間	備考
洋裁教室	第2・4木曜	9:30～	洋服づくり実技
和服着付教室	第2・4月曜	9:30～	着付けの実技
水中健康教室	第2・4水曜	13:30～	水中で体力づくり
陶芸教室	第1・3金曜	13:30～	オリジナルの陶器づくり
水泳教室	第2・4金曜	19:00～	水泳の基礎を指導
書道教室	第1・2月曜	19:30～	「北光」で指導
コールあづまね	毎週月曜	19:30～	コーラス

佐比内公民館 ☎674-2626 有線05-7337

教室名	開催日	時間	備考
竹細工教室	毎週木曜	13:30～	竹取りから製品まで
草木染教室	月1回	9:30～	身の回りの草木を染料に
つるクラフト教室	11月2回	13:30～	自然のつるを利用して
レザークラフト教室	第2・4月曜	13:30～	革製品は使い込むほど味がある
	第1・3月曜	19:30～	
歌謡教室	第2・4水曜	19:30～	カラオケで気分そう快
金山太鼓塾	週1回	19:30～	初心者大歓迎
ファミリースポーツ教室	毎週木曜	19:30～	親子でビーチバレー
古謡伝承教室	月1回	19:30～	大切に唄いつぎましよう

志和公民館 ☎673-7111 ☎673-8384 有線03-5223

教室名	開催日	時間	備考
洋裁教室	第4土曜	9:30～	洋裁の実技
川柳教室	第4土曜	9:30～	川柳の実技と大会参加
和裁教室	第1・3水曜	9:30～	和裁の実技
パッチワーク教室	第2・4火曜	9:30～	パッチワークの実技
高齢者写真教室	不定期	午前中	初級の写真技術習得
挑戦!門松づくり	12月27日(水)	9:30～	ミニ門松づくり

赤沢公民館 ☎676-3036 有線06-7952

教室名	開催日	時間	備考
書道教室	第1・3水曜	19:00～	毛筆・硬筆を「北光」で指導
歌謡教室	第4水曜	19:00～	演歌、歌唱指導
パッチワーク教室	12月から8回	9:30～	バック等自由作品
編物教室	12月から8回	9:30～	手編み、セーター・カーディガン
ソーイング・サークル	12月から4回	13:30～	自由作品

赤石公民館 ☎676-3999 有線04-6161

教室名	開催日	時間	備考
大正琴教室	11～3月の第1・3月曜	13:30～	
生花教室	第1金曜	10:00～	小原流
	第3木曜	19:00～	池坊
木彫り教室	第3土曜	9:00～	
ダンス教室	毎週木曜	19:00～	
おどり教室	第2・4土曜	19:00～	
詩吟教室	第2・3・4木曜	19:00～	

長岡公民館 ☎676-3789 有線07-8226

教室名	開催日	時間	備考
和裁教室	10月～12月の毎週水曜	19:00～	8回
着付け教室	1月～3月の毎週水曜	19:00～	8回
パッチワーク教室	第1・3金曜	19:30～	
チビッコ民謡教室	第2・4火曜	19:00～	
チビッコ踊り教室	毎週土曜	18:00～	若柳流

第12回野村記念講座

今年開館5周年を迎えた野村胡堂・あらえびす記念館では、「第12回野村記念講座」を胡堂の誕生日に開催します。講座は、講演会とコンサートの2部構成になっています。講演は東京経済大学名誉教授・柴田徳衛さん。コンサートは、ソプラノの嶺貞子さんの歌声とクラリネットの村井祐児さん。

日時 10月15日(日)

講演会：午後2:00～2:50

コンサート：午後3:00～4:30

場所 野村胡堂・あらえびす記念館

定員 130人(立ち見席あり)

入場料 無料。ただし整理券が必要

整理券 9月19日(火)午前9:00

から次の場所で差し上げます。

野村胡堂・あらえびす記念館・企画

課・中央公民館

プログラム

【講演会】

演題「銭形平次捕物控 - 明神上のミステリー」

講師 柴田 徳衛さん(東京経済大学名誉教授)

【コンサート】

演奏曲目(予定)

うつろの心【バイジェル口作曲】

パイレロ【カントルーブ作曲】

落葉松【小林秀雄作曲】

ソナタ kv304【モーツァルト作曲】

月の光に変奏曲【ジャンジャン作曲】

など

出演

嶺 貞子さん(ソプラノ)

東京芸術大学教授

村井祐児さん(クラリネット)

東京芸術大学教授



第11回の嶺貞子さん

山田武彦さん(ピアノ)

なお、講座内容については、当日変更になる場合があります。

問合せ 野村胡堂・あらえびす記念館 ☎676-6896

担当：町民課窓口係
☎672-2111 内線143・144

町民課 窓口係から
戸籍コーナー

**戸籍事務が
電算化されます**

町では、戸籍の事務処理時間の短縮と証明事務の大幅な事務改善により住民サービスの向上を図るため、来年の1月から戸籍事務を電算化する予定です。

そこで今月号から、4回シリーズで戸籍に関して一問一答の形で紹介いたします。

Q 戸籍ってなんですか？

A 戸籍は、日本人一人ひとりの身分関係を登録した公の台帳で、本籍・筆頭者名・氏名・生年月日・父母の氏名・続柄その他が登録されます。

Q 戸籍の電算化ってなんですか？

A 現在の戸籍は、用紙に皆さんの身分関係を記載しています。電算化されると、コンピュータにデータとして保管され、戸籍謄抄本などの交付が早くなります。

【来月は電算化のメリットについて紹介します】

公民館 だより

地区公民館 のおすすめ 教室

各地区の公民館では、後期の教室を開催しますので皆さんふってご参加ください。なお、詳しい内容などについては各公民館にお問い合わせください。

中央公民館 ☎672-3372 有線01-2922

教室名	期日	時間	備考
古典文学に親しむ講座	10月～3月	9:30～11:30	竹取物語、源氏物語、奥の細道について学ぶ(講師：吉田祐倫さん)

日詰公民館 ☎672-3372 有線01-8942

教室名	開催日	時間	備考
ソフト粘土細工教室	月1回	13:30～	写真立てや鏡づくり。全3回。9月29日からミニ展示会開催
男の料理教室	月1回	18:00～	プロから達人技を教わり、批評しあひながらの試食
古文書教室	第3土曜	10:00～	近世古文書の解説と解説、その時代背景の学習
水彩画教室	第2・4水曜	13:30～	絵手紙から風景画・自画像など

匠たち

まぢの TAKUMI

このコーナーは職業訓練法人岩手中央職業訓練協会紫波支部の紹介で掲載しています



写真右の黒い木は、初代から使い続けている濃度や色具合を確認するためもの。数センチもの厚さで塗料がたい積しており、歴史を感じさせる。



「何を話ししたらいいか…」 (有)熊谷塗装の熊谷ミサヲ社長は恥ずかしそうに言った。義父からご主人へ、さらに義母、そしてミサヲさんへ。三十年以上の家業はそつやつて引き継がれてきた。「主人の弟が現場をはじめとした外をやってくれますので、私は作業場を中心とした仕事なんです。職人さんもベテランぞろいで、皆さんのおかげでやっています」とミサヲさんはどこまでも控えめだ。お話しを伺いながら作業場へ。一番奥の部屋は仕

上げの部屋だ。「ふすまの周りを塗る場合、ほこりとか付くと、部分修正というわけにはいきません。その面をすべて塗り直さなければなりません。しかも急激な乾燥もひび割れなどがおきますし、ですからここは窓も何も閉めきって作業をするんです」。暑かった今年の夏も、きつこの窓は閉じられたままだったのだらう。そう思うと、職人さんたちの忍耐力に頭が下がる思いだった。

控えめな女性社長が守る先代からの教えの数々

編集後記

朝晩だいぶ涼しくなり、祭りばやしがあちらこちらから聞こえてくるようになりました。今年の夏を振り返ると、収穫は十年ぶりに同級生に会えたこと。何年経っても顔を見ると、十年前に帰れる不思議な関係。おかげで元気をたくさん充電できました。今後の広報にこうご期待？

(佐藤)

【ご意見・情報は】

企画課「紫波ネット」情報係まで

〒028-3390 岩手県紫波郡紫波町日詰字西裏23-1

☎672-2311

【ホームページアドレス】

<http://www.town.shiwa.iwate.jp>

【メールアドレス】

info@town.shiwa.iwate.jp

【紫波ネット9月号】平成12年9月10日発行

発行 紫波町

〒028-3390 岩手県紫波郡紫波町日詰字西裏23-1 ☎672-2111

印刷 / 川嶋印刷株式会社

町長メッセージ

東北産直サミットを終えて

八月三十日と三十一日の両日、サン・ビレッジ紫波で第四回東北地方・産地直売所サミットが開催されました。参加者約七百人という盛大な大会で、私も話を聞く機会を得ました。

現在、東北地方には有人、無人合わせて千力所に及ぶ産直があるといわれています。売上も数万円から数億円、経営方式、品揃えなど千差万別で、お客様から新鮮で日持ちが良く生産者の顔が見え安全と評価されています。しかしながら、今回の発表の中で、流通商品の異物混入が問題になっている昨今、産直も同様のケースがあり、細心の注意が必要ではないかと一般消費者から指摘がありました。また組合員に迷惑をかけた場合のペナルティについての発表もあり、興味深く聞きました。

今後は量販店でも産地直売コーナーを設けるなど、産直との競争の時代が到来することも予想する必要があるでしょう。良い意味での産直間の競争をしながら、信頼を保つことが設立当時から変わらぬ使命と感ぜられました。

当町にも七カ所の産直があり、県内一の数を誇っています。また年間約八万人の方々にご利用いただいております。町の大きな産業として位置づけられるようになりました。さらに産直は都市と農村交流の場、女性の活躍の場、そして特産品開発の場とさまざまな可能性を秘めていると感じます。まさに、時宜を得た開催であり、今サミットで話し合われたことをもとに、各産直の個性を活かし、更なる発展を切望するものです。

(藤原 孝)